

## A-2 学習指導と評価の工夫改善のための視点

### 題材開発

- ・造形表現活動を幅広くとらえられる題材
- ・鑑賞活動→表現活動→鑑賞活動としての一つの題材化
- ・資質や能力が十分に働く題材
- ・興味を引く、夢の膨らむ題材名の工夫
- ・表現やつきたい力に効果的な材料の吟味

### 発想を引き出す

- ・イメージトレーニングのバリエーション
- ・参考作品（鑑賞の場合）
- ・言葉、声かけ、製作カード
- ・共感を中心とした支援
- ・つくり→つくりかえ→つくり続ける過程の工夫
- ・造形あそび

### 技術の手立て

- ・道具の効果的な使い方の指導。
- ・技術の習得を意図的に入れた題材設定

### 鑑賞の場の充実

- ・鑑賞教材と表現題材を一題材として設定
- ・鑑賞の場の設定「見二見二美術館」
- ・作品や表現活動のよい所を伝え合う場の設定  
(かかわり合う 認め合う)

### 評価の工夫

- ・自己評価、相互評価の場を設定  
(自己の変容を認識する場の設定)
- ・評価セッションから授業に入る試み
- ・共感的な言葉かけ  
(子ども達の心に寄り添うように心がける)
- ・ポートフォリオの活用
- ・視聴覚機器の利用